

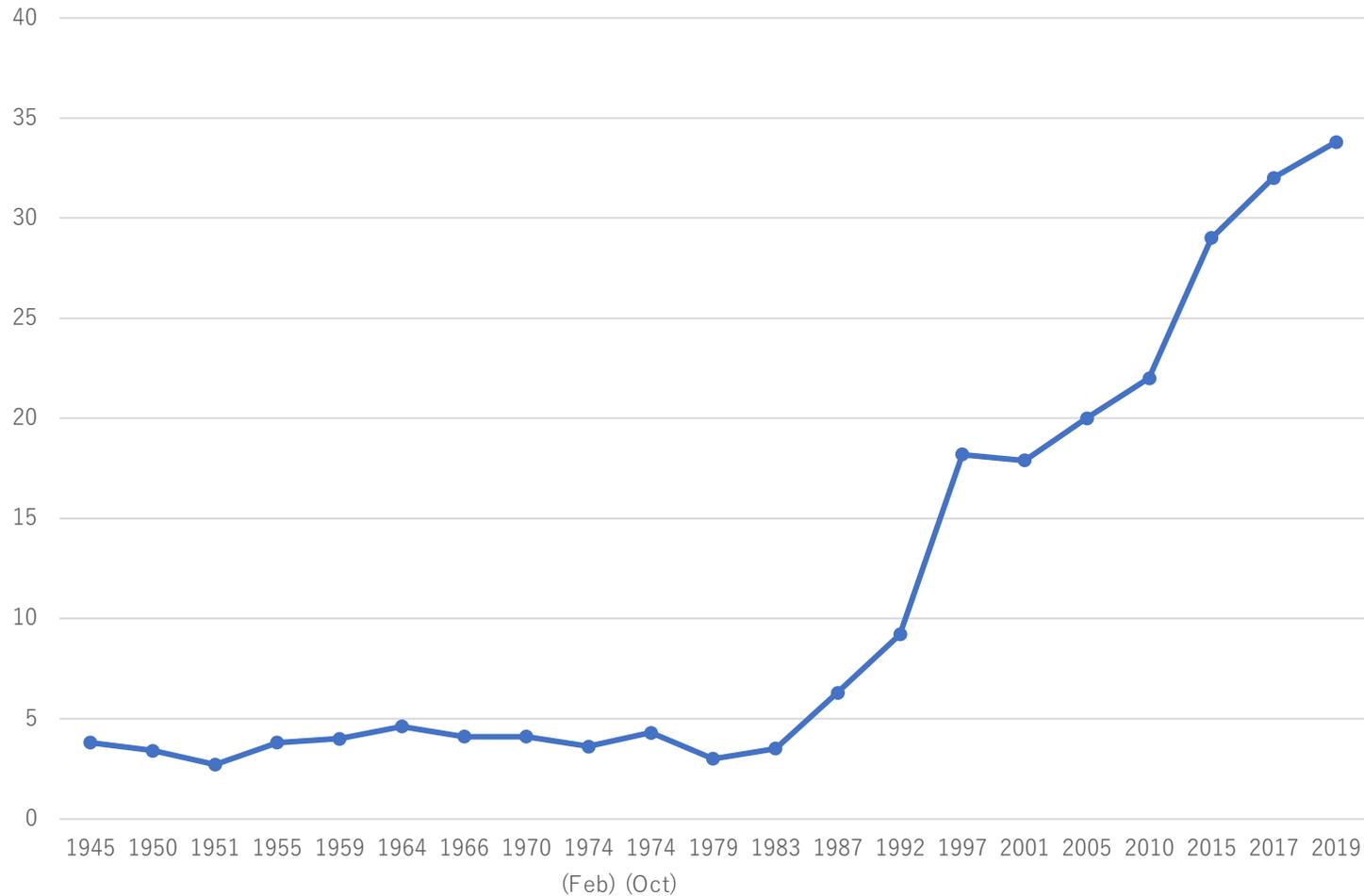
イギリスからの示唆： 候補者選定過程を中心に

日本学術会議公開シンポジウム
「女性の政治参画をどう進めるか？」

2022年3月13日

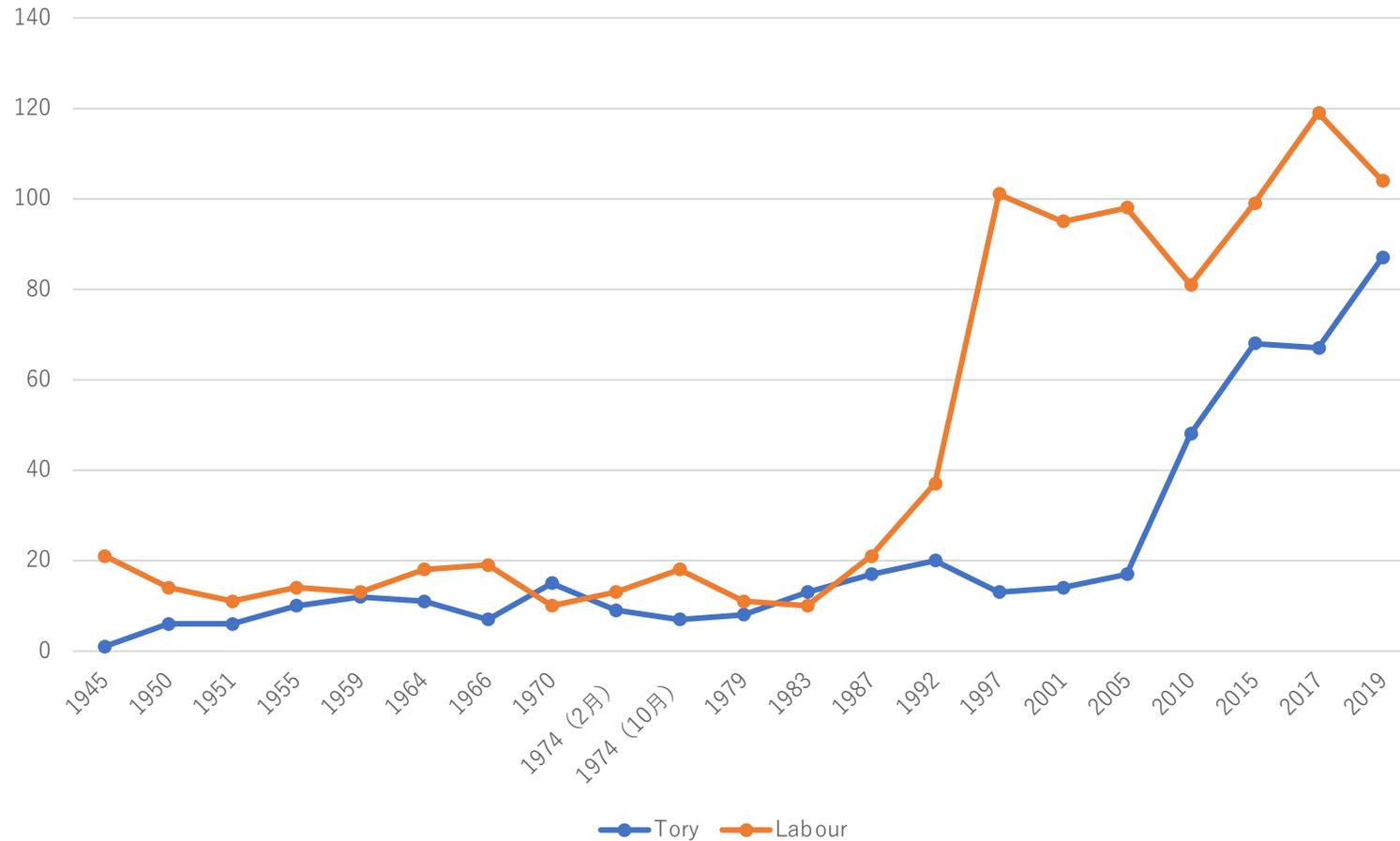
日本学術会議連携会員・東海国立大学機構名古屋大学大学院法学研究科
武田宏子

庶民院の女性議員比率



- 1997年までヨーロッパの「後進国」
- 1992－1997年で倍増
- 1997年総選挙：ニュー・レイバーによる政権交代選挙

庶民院の女性議員数：保守党と労働党



- ウェストミンスター議会における女性議員の増加は**労働党が主導**
- 2010年総選挙
 - 保守党への政権交代
 - 労働党は史上2番めに低い得票率で惨敗
- 2019年総選挙：**労働党では女性議員が多数派となる**

1997年総選挙



Photofusion via Getty Images

http://news.bbc.co.uk/2/hi/uk_news/politics/4698222.stm

https://www.huffingtonpost.co.uk/2016/01/20/cherie-blair-blair-babes-davos_n_9030806.html?guccounter=1&guce_referrer_us=aHR0cHM6Ly93d3cuZ29vZ2xlLmNvLmpwLWw&guce_referrer_cs=JbOV0GwzHU0uoNH3wwBfCQ

女性議員の増加を目指した労働党制度改革

- 1970年代以降：女性議員／党員による改革を求める動き
- 1979年に下野して以降、再び政権に就くための選挙戦略の一環として、女性有権者の間での支持の拡大が目指されるようになる
 - 方策：党所属女性議員の数の拡大
- 1987年：候補者として女性が指名された際に最終候補者リストに最低一人の女性候補者を残すことを義務化
- 1990年：女性議員比率を10年間で50%にするという目標 & 党組織と候補者選出システムにクォータ制を取り入れることを党大会で決議
 - ただし、候補者選定へのクォータ制は選挙区レベルの抵抗にあい、進まず
 - 問題は候補者選定過程にある！
- 1993年：「女性指定選挙区」を党首選挙での「一人一票制」と抱き合せて導入

労働党の候補者選出過程

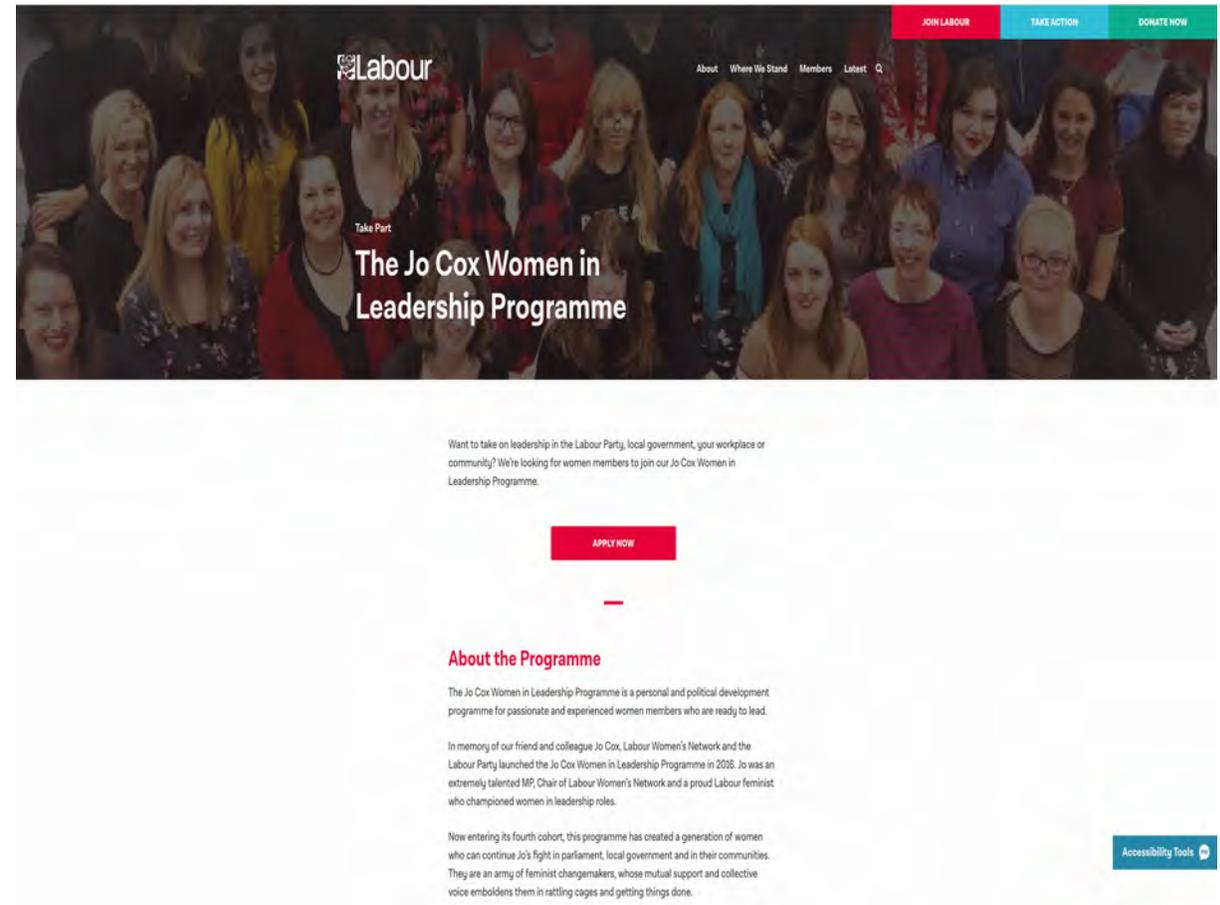
- 労働党規則集（Labour Party Rule Book）
- 資格：労働党の党員
- 選挙区労働党の選考委員会による最終候補者リストの作成
- 最終候補者リストに記載された候補者による指名獲得のためのキャンペーン
 - 選挙活動 ← キャンペーン資金の上限
 - 討論会
- 選挙区党員による一人一票制の投票
- 労働党全国執行委員会による承認
- 現職議員の「信任」
 - 「引き金投票」の50%以上の信任
 - 50%以下 → 再選出過程
 - 強制的再選出を求める声

女性指定選挙区

- 女性候補者に限定した最終候補者リスト
 - 現役議員が引退する選挙区
 - 前回選挙において当選者と次点落選候補の得票差が6%以内である「当選の可能性が高い議席」(winnable seat) 選挙区
- 党内からの反発：特に、候補者になれなかった男性
- 1996年労働裁判所判決によって使用停止
- 1997年総選挙
 - 女性候補者：158名 (24.6%)
 - 主要選挙区女性候補者率：**50.6%**
 - 勝ち目の薄い選挙区：25.6%
- 効果 (Childs 2000)
 - 他党と比較して、労働党の女性候補／議員比率が著しく高い
 - 1997年総選挙における女性議員の数の急激な増加
 - 女性の政治代表の拡大の障壁：各選挙区における「候補者選出システム／者」
 - 女性候補者 へのインセンティブ
- 2002年に性差別 (選挙候補者) 法 の成立によって復活

労働党による女性候補者トレーニング

- 労働党女性ネットワーク
- ジョー・コックス・リーダーシップ・プログラム
 - 労働党女性ネットワーク
 - 選挙区労働党の活動でリーダーシップを発揮するためのトレーニング
 - パブリック・スピーキング、管理業務
 - 合宿を含めた4セッション



The screenshot shows the Labour Party website's page for the Jo Cox Women in Leadership Programme. The top navigation bar includes 'Labour', 'About', 'Where We Stand', 'Members', 'Latest', and 'Q'. A red button for 'JOIN LABOUR', a teal button for 'TAKE ACTION', and a green button for 'DONATE NOW' are visible. The main heading is 'The Jo Cox Women in Leadership Programme' with a 'Take Part' link. Below this is a call to action: 'Want to take on leadership in the Labour Party, local government, your workplace or community? We're looking for women members to join our Jo Cox Women in Leadership Programme.' followed by a red 'APPLY NOW' button. The 'About the Programme' section describes it as a personal and political development programme for passionate and experienced women members. It also mentions the programme's history, launched in 2015 in memory of Jo Cox, and its current focus on creating a generation of women leaders.

<https://labour.org.uk/members/jo-cox-women-leadership/>

保守党の制度改革と女性議員の増加

- 1997年総選挙で下野して以来、2010年まで政権復帰できず



- 「女性問題」の認識
 - 保守党所属の女性議員の少なさ（2005年総選挙で選出された女性議員は労働党が98名に対し保守党は17名）
 - 党内女性組織や女性党員の不満
 - 2005年総選挙マニフェストにおける女性問題への取組みに対する厳しい評価
 - ニュー・レイバーとの対比において、女性有権者からの支持の低さ
- 党改革：野党としての「キャッチ・アップ」の政治 (Childs and Webb 2012)

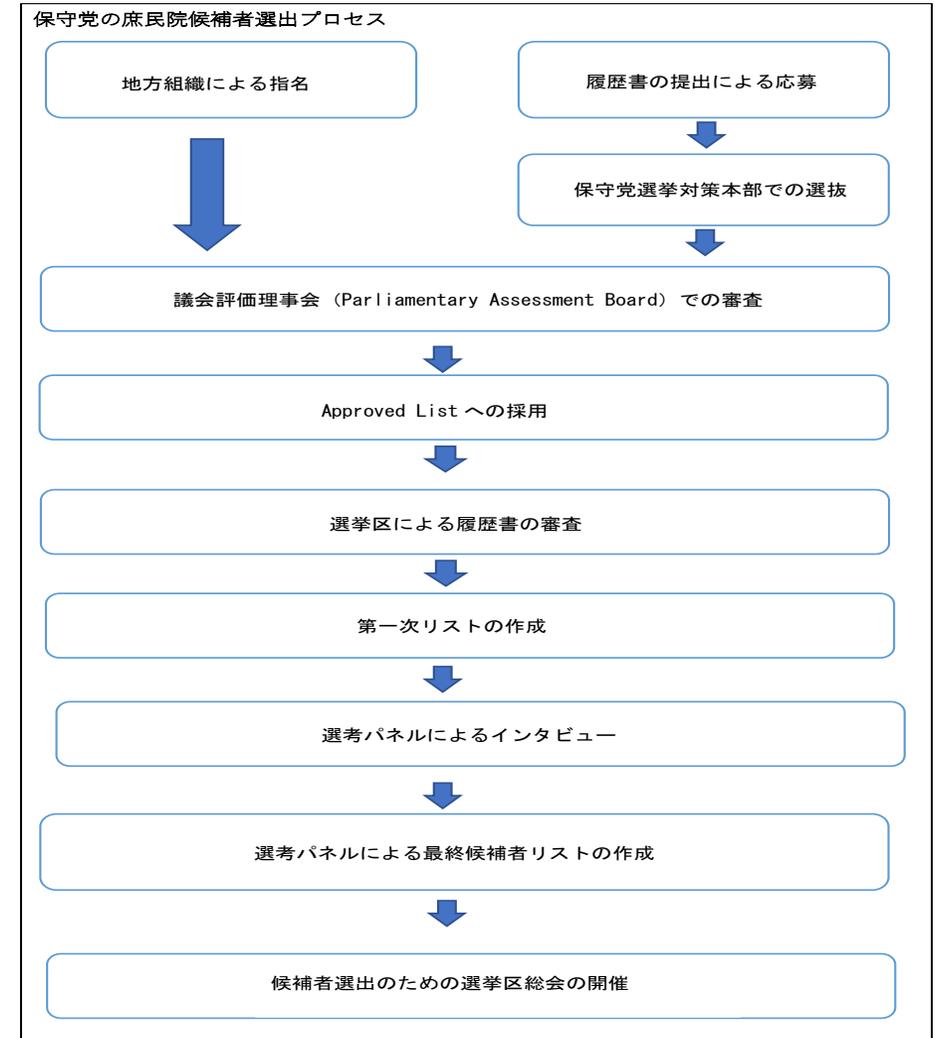
保守党の党改革と女性議員の増加

候補者選定の仕組み

- 議会評価委員会での審査：5つの課題により、6種類の能力
- ダイバーシティに配慮した「最も良質な」候補者の「優先リスト」
- 選挙区：プライマリー方式と「コミュニティ・パネル」による審査

議会評価委員会

課題	能力
能力評価インタビュー	コミュニケーション・スキル
パブリック・スピーキング	知的スキル
未決の案件に関する実習	人びととの関係の持ち方
グループによる実習	指導力と意欲
心理テスト（後に、小論文に変更）	レジリエンスと活力
	政治的信念



保守党の党改革と女性議員の増加

- 党内クォータ制は採用せず
- 党内組織Women2Winの党執行部によるバックアップ
 - ウェストミンスター議会での保守党所属の議員を増やす
 - アン・ジェンキンとテレーザ・メイの個人的なイニシアティブ
 - 2005年党首選でのロビー活動
 - キャメロンによる党改革の中心課題として設定
- 2010年総選挙で17名から48名に増加。2015年に68名、2017年67名、2019年に87名。



候補者選定に関する政党の規則と女性候補者

- Jene Wäckerle (2022) 'Parity or Patriarchy?: the Nomination of Female Candidates in British Politics', *Party Politics*, 28 1: 10-23.
- 労働党と保守党の候補者選定規則の女性候補者選出への影響
 - 党内クオータの有無
 - 労働党と比較すると、保守党では当選可能性が低い選挙区により多くの女性候補が配置される傾向
 - 保守党：2019年総選挙では、25%以下の当選可能性の選挙区に配置された女性候補者は40%以上
 - 労働党：2019年総選挙で、当選可能性が25%と75%の選挙区に配置された女性候補者は共に52%
 - 二大政党間の波及効果は2015年総選挙で確認される
 - 近隣選挙区での女性候補の選出による波及効果：近年では保守党でも…
 - ただし、解散総選挙であった2017年&2019年のケースは例外である可能性も

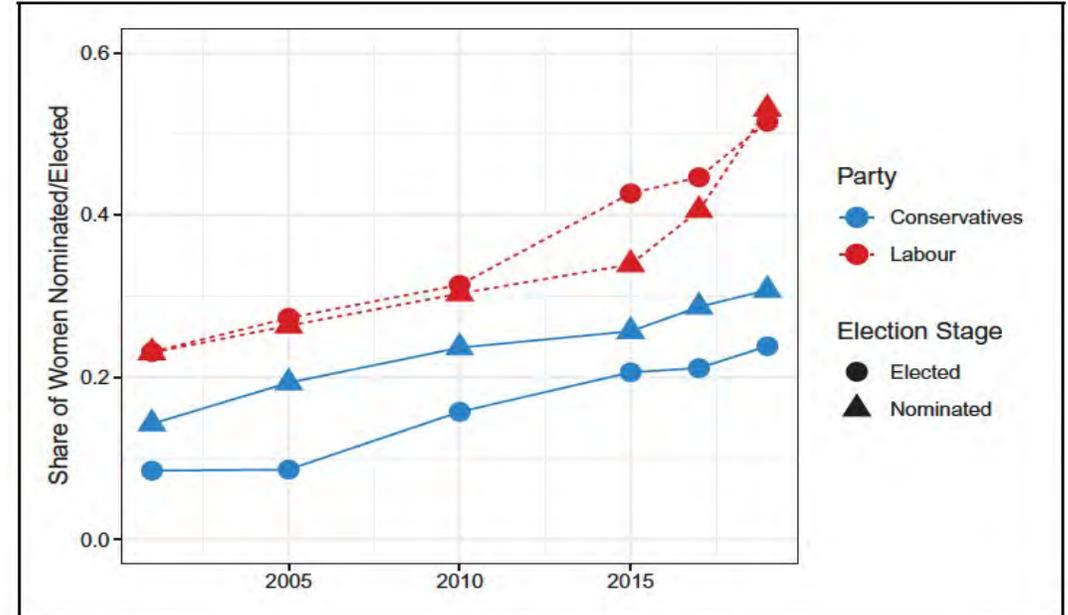


Figure 1. Percentage of women being nominated and elected for Conservatives and Labour.

(Wäckerle2022: 15)

イギリスからの示唆

- イギリスでの女性議員の増加：政党が主導
- 政党の党勢回復と選挙戦略としての（特に、労働党）党改革：
女性候補者を増やす & 当選可能性が高い選挙区に配置する
 - 女性議員を増やす
 - 女性有権者の支持を拡大する
- リーダーシップの役割：トップダウンのイニシアティブ
- 政権交代（1997年 & 2010年）：女性議員の数の拡大
- 女性の政治代表の増加 = 政党としての有効性の向上
- 政党間競争
 - 女性候補・議員の増加の必要性の認識
 - 政策
- 政党のイデオロギー的志向性：特に党内クオータに対する態度

ご清聴ありがとうございました

Explore 'New Dawn'

Search collection

Use the 'hot spots' below to explore Parliament's new women's suffrage artwork



New Dawn is a contemporary sculpture by Mary Branson commemorating the long campaign that led to some women gaining the vote in 1918, and all women in 1928.

New Dawn was unveiled on 7 June 2016, the 150th anniversary of **the first mass petition** submitted to Parliament calling for women's suffrage (the right to vote).